

養子縁組家庭支援の グッドプラクティス

花園大学社会福祉学部
児童福祉学科 和田一郎



はじめに

○議論のための基礎資料提示（30分）

（1）養子縁組調査2次分析の概要（単変量）

（2）家族支援のためのエビデンス

①親子の満足度に影響する因子（多変量解析）

②子どもの満足度に影響する因子（多変量解析）

（3）回答者の意見から（質的・多変量解析）

多変量解析って？

単変量解析	多変量解析	アウトカムの性質
・ χ^2 乗検定 ・t検定	→ ロジスティック回帰分析	→ 大よそ2つのグループ
・t検定 ・相関	→ 重回帰分析	→ 連続変数
・ログランクテスト (K-M曲線)	→ COX回帰分析	→ 生存日数

医学、保健、介護、教育など、人に関わる領域
今回：里親でも使用

今回の発表のレベルは？ (EBM,EBPなど)

1	システマティック・レビュー／RCT のメタアナリシス	
2	1つ以上のランダム化比較試験による	
3	非ランダム化比較試験による	
4a	分析疫学的研究（コホート研究）	
4b	分析疫学的研究（症例対照研究、横 断研究）	→ここ
5	記述研究（症例報告やケース・シ リーズ）	
6	データに基づかない、専門委員会や 専門家個人の意見	

もとになったデータ

- 養子縁組家庭に関するアンケート調査報告書（日本財団、2016）
- 子が15歳以上の養子縁組家庭の生活実態調査報告書（日本財団、2017）
- 上記について、データマッチング（多変量）
- 本研究の限界：サンプルサイズ

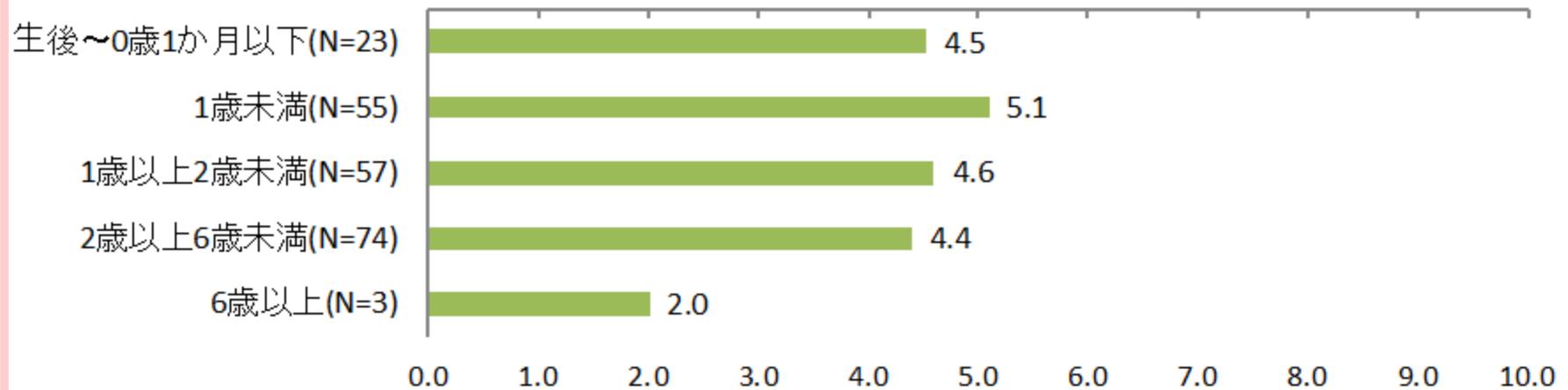
(例) 真実告知の時期

- 早いほうがいいのか？という仮説
- いつぐらいに真実告知をしているのか？
(親への調査)
- その子どもは現在どのぐらいの幸福度？
(子どもへの調査)

→マッチングにより分析

真実告知までの期間

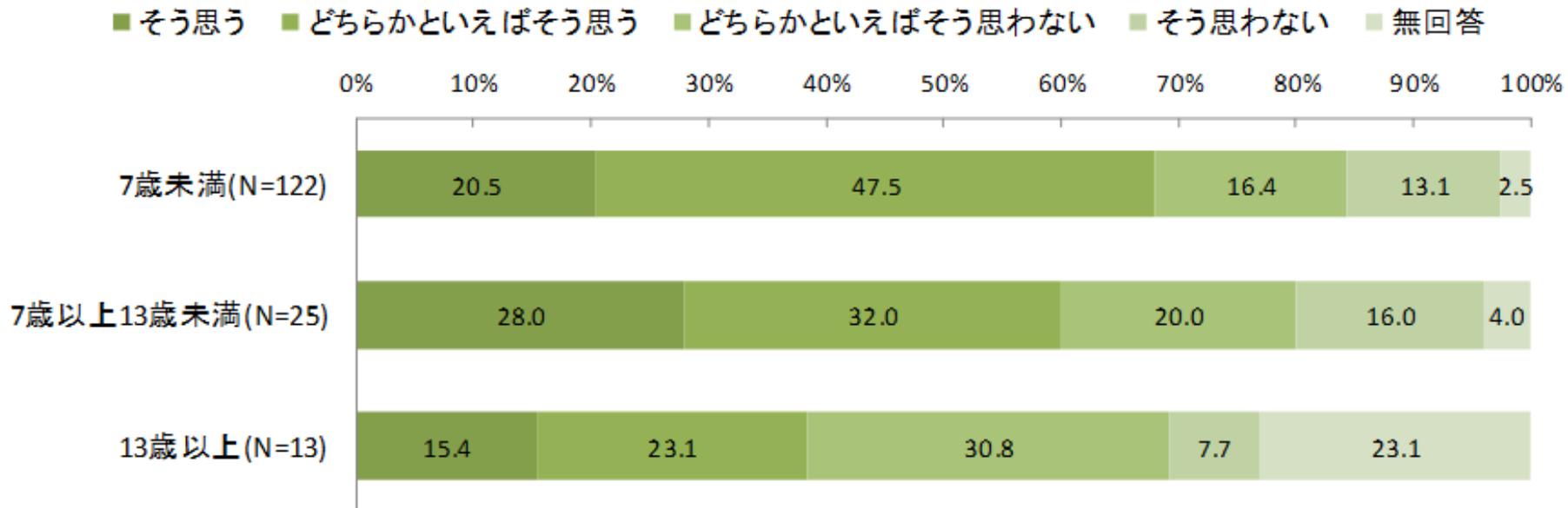
真実告知までの期間
(養育開始時の子どもの年齢別)



真実告知期間は平均で4.6年(標準偏差:4.2年)

子どもの意見

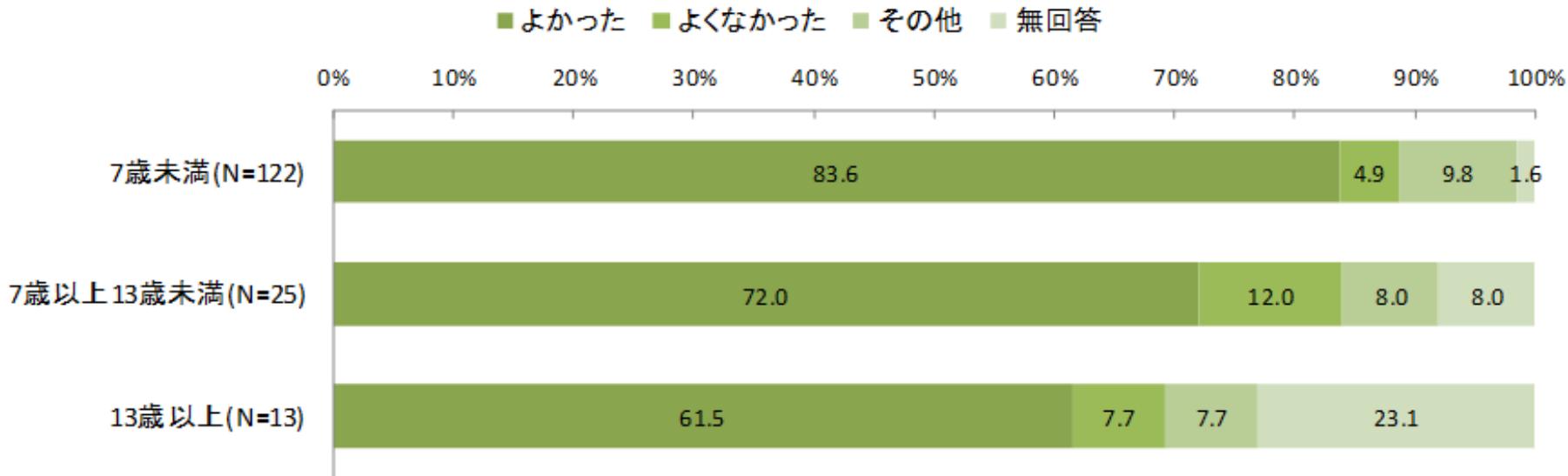
子どもが「自分自身に満足している」
(真実告知をした時の子どもの年齢別)



15歳以上：真実告知の年齢が若い方が満足度が高い傾向にあった($p=0.035$)

子どもの意見

父母が育ての親であることを知って子どもがよかったと思うか
(真実告知をした時の子どもの年齢別)



15歳以上: 真実告知時の年齢が若い方が「よかった」と答える傾向にあった($p=0.014$)

(例) 真実告知の年齢から

○ 2変量のレベルでは

- 真実告知は「早ければ早いほどいい」

(限界)

- 2変量 (偏相関、偽相関)
- サンプルサイズ (もっと細かい年齢層)

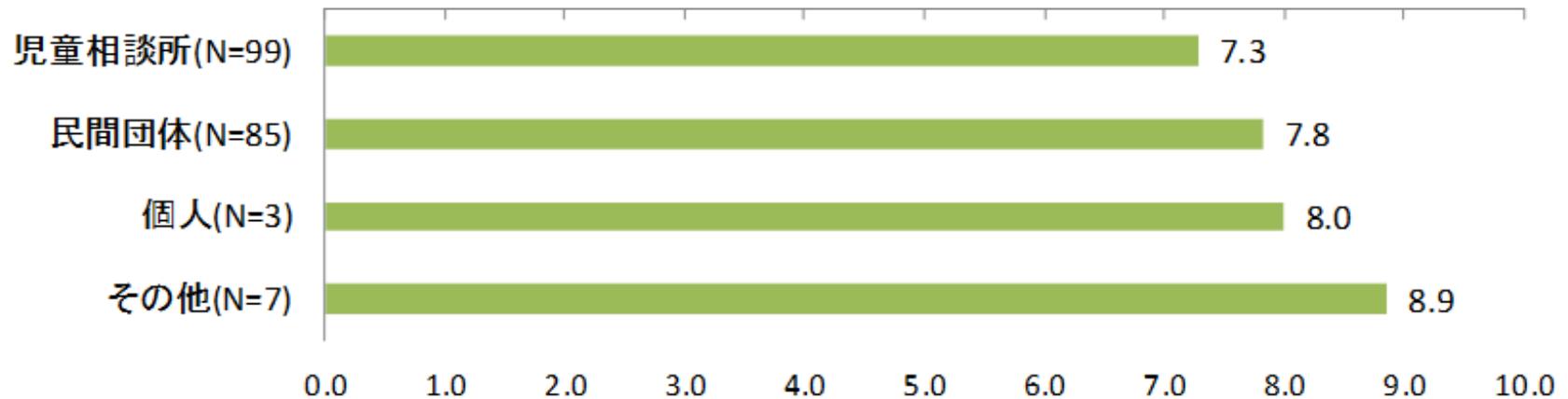
政策根拠としては、十分なデータ
例：子どもの貧困対策(大阪府)

その他 2変量有意

- 15歳未満の子どもにおいては、父親の学歴と子どもが「うまくいくかわからないことにも意欲的に取り組む」との関連に有意差が見られ、父親の学歴が高い場合に子どもの意欲が高い傾向が見られた ($p=0.001$)。15歳以上においては、親の学歴と子どもの満足度に関連は見られなかった (全て $p>0.19$)。
- 真実告知時の気持ち「動揺した」「記憶にない」と答えている場合、「自分の親から愛されていると思う」について「そう思う」と答えた割合は低い傾向にあった ($p=0.005$)。

(参考：子どもの幸福度)

子どもの幸福度 (子どもを仲介した機関別)



仲介機関別にみた子どもの幸福度では、民間団体、個人、その他でやや高い傾向にあった($p=0.13$)

本発表

- ①親子の満足度に影響する因子
- ②子どもの満足度に影響する因子
- ③記述欄分析から見たテキスト分析
- ④研究結果から見たグッドプラクティス

①親子の満足度

(2項ロジスティック解析：多変量)

【結果】親子ペア151人

- 冠婚葬祭出席なし ⊖
- 頼れる人（就転職相談いない） ⊖
- 一週間の状況（寂しいと感じる） ⊖
- 父母が育ての親であることを知ることについて（よくなかった） ⊖

②子どもの満足度に影響する因子

(2項ロジスティック解析：多変量)

【結果】15歳未満104人

- 子どもの心身の状況
- 親からのほめられ体験 (通常)

②子どもの満足度に影響する因子

(2項ロジスティック解析：多変量)

【結果】15歳以上175人

- 現在の暮らし向き
- 父母への進路相談の状況
- 頼れる人 (愚痴を聞いてくれる)
- 頼れる人 (災害時－家族の手助け)
- 生活状況 (規則正しい生活)

④研究結果から見た グッドプラクティス (これからの議論として)

- 制度の理解と推進
- 関係機関（学校等）の理解
- 真実告知の重要性（早く正確に）
- 縁組前後、親子ともどもケア
- 思春期への対応

④研究結果から見た グッドプラクティス

- 学校等（子どもの福祉、1/2成人式等）
- 告知のアセスメント
- 養子縁組前の支援
- 養子縁組後の支援
- 役割分担（児相・民間：長所の取入れ）

(参考)

- 各国の里親支援の発展から

ありがとうございました。